

凡事徹底(縁)

八代第一中学校

生徒指導通心

最終号 2024. 3. 22 (金)

最後の目標：先輩から歴史を引き継ぐ！後輩を正しくリードできる先輩になる！！

校訓：一中生徒としての最善最高の自覚と実践 綱領：至誠貫徹・真理探究・耐久持続
学校教育目標：『みんなが安心して笑顔で過ごせる学校』

スローガン：『夢実現・自己実現』～笑顔と挑戦 一中プライド～

咲いた花を見て喜ぶなら咲かせた根元の恩を知れ～出会いに感謝します～

1、2年生のみなさん、いよいよ来週は、修了式の日を迎えます。本年度の学校生活も、これで一区切りです。さて、みなさんにとってどんな1年だったでしょうか。楽しかったこと、感動したこと、辛かったこと……。それぞれが色々な想いで過ごした1年間だったことだと思います。

正門付近には桜の木があります。少しずつ花が咲き始めようとしています。春はもうすぐといった感じでしょうか。桜を見ると春が来たという晴れやかな気持ちになります。でも、桜の花が散ってしまい葉桜になると、誰一人「ありがとう」の感謝の気持ちもなく通り過ぎてしまいます。

実は、きれいな桜の花を咲かせているのも、大地に張った「根っこ」であり、暑い夏や厳しい冬を耐え忍び、大自然の恵みを体いっぱい蓄えようと毎日努力しているのも「根っこ」です。

次年度も、多くのみなさんに喜んでもらえるように、桜の木も精一杯生きています。

これは人間も同じです。生まれてから今日に至るまで、親や兄弟、友達などの数え切れないほどの人にお世話になり「今」を生かされているのだと、この季節を迎えるたびに感じています。

2. 3年生のみなさん、後輩を正しくリード出来る頼もしい先輩として輝いて下さい

通心も最終号となりました。1年間本当にありがとうございました。最終号にあたりみなさんへメッセージを贈ります。次年度も、個性を大切に、それぞれの道で、大いに輝いて下さい。

君はこれまでに何度も失敗した。きっと覚えてはいないだろうが。

はじめて歩こうとしたあの時、君は転んでしまった。

はじめて泳ごうとしたあの時、君はおぼれそうになった。そうじゃなかったかい？

はじめてバットを振ったとき、バットはボールに当たったかい？

強打者たち、ホームランを一番よく打つバッターは、よく三振するものだ。

R. Hメーシーは、7回も失敗した後でようやくニューヨークの店を成功させた。

小説家ジョン・クリーゼは、564冊の本を出版する前に753通の断り状を受け取った。

ベブルースは1330回三振した。だが、714本のホームランを飛ばしている。

失敗を恐れちゃいけない。トライもしないで逃すチャンスを恐れたほうがいい。

『アメリカの心』ユナイテッド・テクノロジー・コーポレーション/学生社

誰でも、初めての時はたいてい失敗するものです。最初に、箸やスプーンを使うとき、自転車に乗るとき、楽器を演奏するとき、スポーツをするとき……。はじめから上手くいく人など誰もいません。でも、最初に失敗したからこそ、次の一步を踏み出せるのではないのでしょうか。人生は「トライアンドエラー」といいます。つまり、試行錯誤の連続なんですね。「発明家」と言われたエジソンは「私は失敗したことがない。ただ、一万通りの、上手くいかない方法を見つけただけだ」と言っています。また、私の好きな歌の一つに、「何度でも(DREAM COME TRUE)」という歌があります。その中に、次のような歌詞があります。

10000回だめでへとへたになっても 10001回目は何か変わるかもしれない

この歌詞を聞いたとき、すごく背中を押されました。「勝負はここから」とよくいいます。何度失敗しても成功するまでチャレンジし続ける人に、勝利の女神はほほえむのかもしれない。